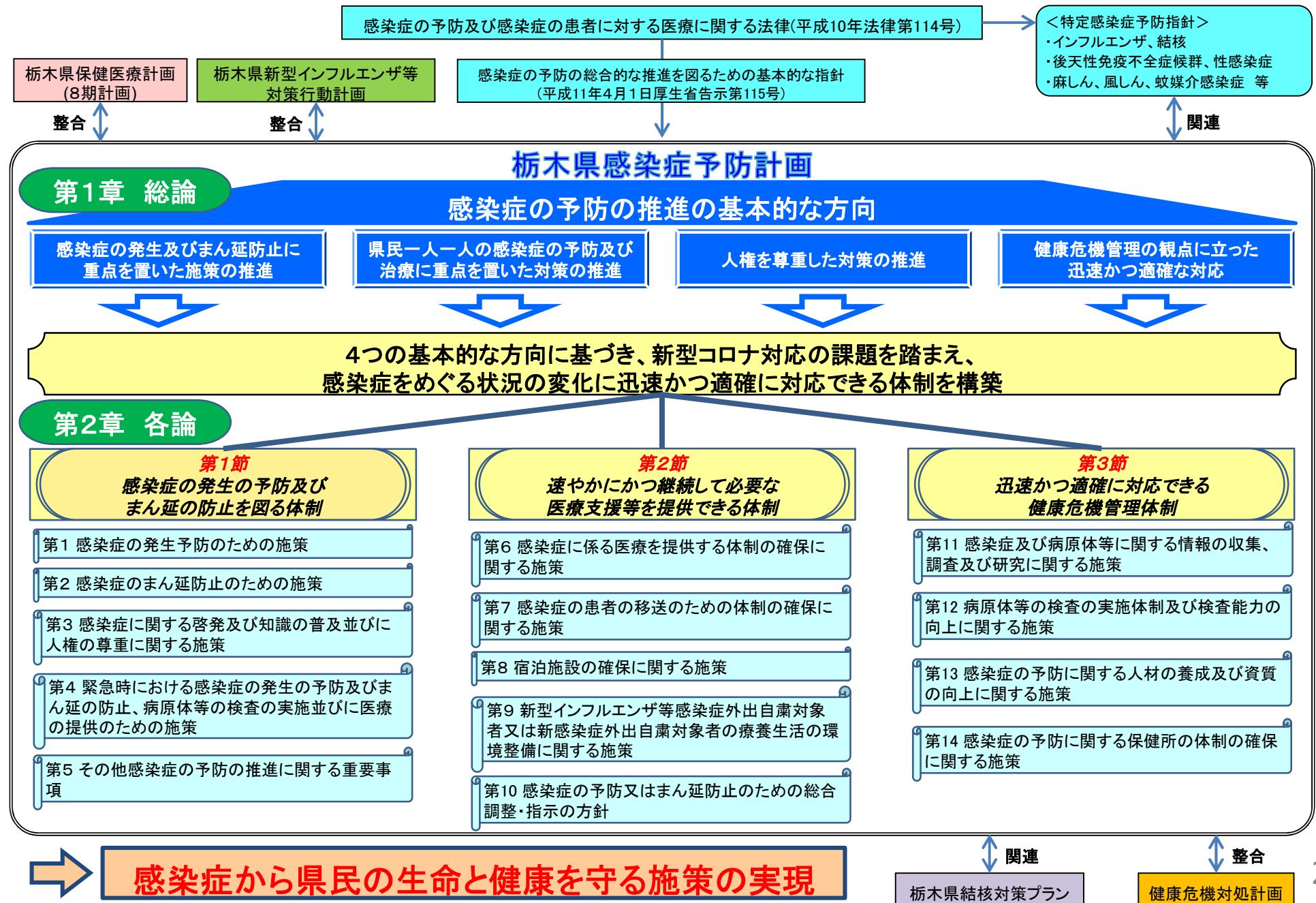


議題1

栃木県感染症予防計画及び 宇都宮市感染症予防計画の実施状況について

栃木県感染症予防計画（体系図）



各種施策の主な取組と実施状況

年度	第1節 感染症の発生の予防及びまん延の防止を図る体制	第2節 速やかにかつ継続して必要な医療支援等を提供できる体制	第3節 迅速かつ適確に対応できる健康危機管理体制
R7 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> ○ディスプレイ広告・動画広告【継続】 <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルマーケティングによる広報啓発について、R6年度の評価を行い、より効果的な広報啓発を実施 ○感染症発生動向調査 <ul style="list-style-type: none"> ・急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスの実施【新規】 	<ul style="list-style-type: none"> ○医療措置協定の締結【継続】 ○個人防護具の備蓄【継続(新規)】 <ul style="list-style-type: none"> ・国の備蓄水準に基づく計画的な備蓄を開始 ○協定締結医療機関に対する施設整備、設備整備の補助【継続】 	<ul style="list-style-type: none"> ○とちぎ感染症対応力強化プロジェクト【継続】 <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策コーディネーターを継続して養成するとともに、フォローアップを実施 ○研修・訓練【継続】 <ul style="list-style-type: none"> ・参加者アンケートを踏まえ、より効果的な研修内容を検討
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ディスプレイ広告・動画広告 デジタルマーケティングによる広報啓発について、R6年度の評価を踏まえて、より効果的な広報啓発を実施 ○感染症発生動向調査 (11/16現在) <ul style="list-style-type: none"> ・ARIの発生状況の継続したモニタリング ・患者検体の分析（1,064検体） 	<ul style="list-style-type: none"> ○医療措置協定の締結 ※資料3参照 ○個人防護具の備蓄 一般競争入札：R7.11.13 医療用（サージカル）マスク33万枚等、国の基準に基づき調達 ○協定締結医療機関に対する施設整備、設備整備の補助（手続中） 施設： 5件、 26,879千円 設備： 100件、 116,783千円 	<ul style="list-style-type: none"> ○とちぎ感染症対応力強化プロジェクト (11/20現在) <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター養成研修会10回開催 214名養成（延べ養成人数548名） ・フォローアップ研修会1回開催34名参加 ○研修・訓練 協定締結医療機関向け：R7.11.5 講師：川崎市健康安全研究所 参与 岡部 信彦 氏 「平時における新興感染症への備え」 参加：399人（WEB接続数）

予防計画の実施状況

R7
(上半期)

【検査体制関係】

① 予防計画における検査体制関係の目標値

①-1 流行初期／流行初期以降それぞれの病原体の検査の実施能力（〇件／日）

流行初期（大臣公表後1か月）	流行初期以降（大臣公表後6か月）
448	件／日
448	件／日

①-2 地方衛生研究所等における検査機器の数（〇個）

6	個
---	---

③ ①の目標値に対応する実績

③-1 流行初期／流行初期以降の検査実施能力

④ 民間検査機関等による流行初期／流行初期以降の検査実施能力

⑤ 地方衛生研究所等（いわゆる公的検査機関）における流行初期／流行初期以降の検査実施能力

	流行初期（大臣公表後1か月）	流行初期以降（大臣公表後6か月）
③-1 ①の目標値に対応する実績（〇件／日）	1840	4340
④ 民間検査機関等（〇件／日）	1360	3860
⑤ 地方衛生研究所等（〇件／日）	480	480

③-2 地方衛生研究所等における検査機器の数

6	個
---	---

予防計画の実施状況

R 7
(上半期)

【宿泊施設の確保体制関係】

- ⑦ 予防計画における宿泊施設の確保体制関係の目標値（流行初期／流行初期以降それぞれ）をご記入ください。

流行初期（大臣公表後 1 か月）	流行初期以降（大臣公表後 6 か月）
100 部屋	1100 部屋

- ⑧ 検査等措置協定の締結施設数・確保居室数（流行初期／流行初期以降それぞれ）をご記入ください。

	流行初期（大臣公表後 1 か月）	流行初期以降（大臣公表後 6 か月）
検査等措置協定の締結施設数	9 施設	9 施設
検査等措置協定の確保居室数	1751 部屋	1751 部屋

【人材育成関係（都道府県職員等）】

- ⑩ 予防計画における都道府県職員等に対する研修・訓練等の実施回数の目標値（1年のうち何回実施するか）

3	回／年
---	-----

- ⑪ 令和 6 年 10 月 1 日から令和 7 年 10 月 1 日までに実施した都道府県職員等に対する研修・訓練等の回数

4	回
---	---

感染対策等研修について（宇都宮市）

本市感染症予防計画において、「感染症をめぐる状況の変化に迅速かつ適確に対応するためには、適切な感染拡大防止対策を行いうための感染管理の専門家や行政機関における感染症対策の施策立案を担う職員等、多様な人材が必要となることから、「市、保健所、衛生環境試験所」及び「高齢者施設等」における人材の養成及び資質の向上を目的とした研修を実施する」旨を明記している。

そこで、市として研修会を開催し、関係機関に対して感染対策の重要性を周知することにより、感染症発生時における体制強化を図る。

1. 目指すべき姿

研修参加者が効果的かつ効率的な感染対策を理解し、実践できる

- ✓ 平時から基本的な感染対策を徹底し、各高齢者施設等においてノウハウを蓄積している。
- ✓ 新興感染症発生及びまん延時において迅速に対応できるよう、感染症対策を担う保健所職員や応援職員の体制が整備される。

2. 開催済みの研修会

	対象	時期	内容	講師	参加人数
1	市役所職員向け	8月4日～9月12日 映像資料研修	第一部：新興感染症発生に備えた感染症対策 第二部：庁内応援職員の役割について	第一部：医師 羽金 和彦 氏(元保健所長) 第二部：保健師 岡田 美穂子氏(元保健予防課 副主幹)	81人
2	保育所等職員向け	9月30日 ※参集&WEBによるハイブリッド開催	保育所等における感染対策について	とちぎ感染症対応力強化プロジェクト 地域アドバイザー 感染管理認定看護師 小島貴子氏	61人
3	高齢者施設等職員向け (感染対策コーディネーター)	11月14日 参集開催	感染症発生時におけるマネージメント対応方法の習得等(グループワーク及び活動報告会)	とちぎ感染症対応力強化プロジェクト 統括アドバイザー 地域アドバイザー ほか	34人
4	保健所および 衛生環境試験所職員向け (庁内保健師を含む)	11月20日 参集開催	第一部：健康危機発生時における保健所等職員の役割について 第二部：新興感染症等の発生に備えた感染症対策等・健康危機管理対処ゲーム	第一部：保健所総務課 主幹 杉山 佐千子 氏 第二部：芝浦工業大学 教授 市川 学 氏	33人